

# 令和6年度 年間指導計画（評価計画） 数学 2年

## 1 評価の観点及びその趣旨

観 点		趣 旨
①	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

## 2 年間指導計画

月	単元	学習事項(指導内容)	時数	観点	評価規準	評価方法
4月 5月	1章 式の計算	<b>1 式の計算</b> 1 単項式と多項式 2 多項式の計算 3 単項式の乗法・除法 4 式の値  <b>2 文字式の利用</b> 1 文字式の利用 2 等式の変形	15	① ② ③	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を、文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 ・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ・文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしていたりしている。	・授業中の様子 ・提出物 ・振り返りシート (授業・節・章) ・小テスト ・定期考査
6月 7月	2章 連立方程式	<b>1 連立方程式</b> 1 2元1次方程式と連立方程式 2 連立方程式の解き方 3 いろいろな連立方程式の解き方  <b>2 連立方程式の利用</b> 1 連立方程式の利用	17	① ② ③	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 ・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。 ・連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・授業中の様子 ・提出物 ・振り返りシート (授業・節・章) ・小テスト ・定期考査
9月	3章 1次関数	<b>1 1次関数</b> 1 1次関数 2 1次関数の値の変化 3 1次関数のグラフ 4 1次関数の式の求め方  <b>2 1次関数と方程式</b> 1 2元1次方程式のグラフ 2 連立方程式とグラフ  <b>3 1次関数の利用</b> 1 1次関数の利用	19	① ② ③	・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を、関数を表す式とみることができる。 ・1次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表・式・グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ・1次関数のよさを実感して粘り強く考え、1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・授業中の様子 ・提出物 ・振り返りシート (授業・節・章) ・小テスト ・定期考査

月	単元	学習事項(指導内容)	時数	観点	評価基準	評価方法
10月 11月 12月	4章 図形の性質と合同	<b>1 平行線と角</b> 1 直線と角 2 三角形の角 3 多角形の内角と外角  <b>2 三角形の合同</b> 1 合同な図形 2 三角形の合同条件  <b>3 証明</b> 1 証明のしくみ	19	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行線や角の性質を理解している。</li> <li>多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。</li> <li>平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。</li> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明することができる。</li> <li>三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> <li>証明のよさを実感して粘り強く考え、図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様子</li> <li>提出物</li> <li>振り返りシート(授業・節・章)</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
1月 2月	5章 三角形と四角形	<b>1 三角形</b> 1 二等辺三角形 2 正三角形 3 直角三角形 4 ことがらの逆と反例  <b>2 四角形</b> 1 平行四辺形 2 特別な平行四辺形 3 面積が等しい三角形	20	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。</li> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。</li> <li>三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> <li>証明のよさを実感して粘り強く考え、図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様子</li> <li>提出物</li> <li>振り返りシート(授業・節・章)</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
3月	6章 データの活用	<b>1 データの散らばり</b> 1 四分位数と四分位範囲 2 箱ひげ図  <b>2 データの傾向と調査</b> 1 データの傾向と調査	8	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様子</li> <li>提出物</li> <li>振り返りシート(授業・節・章)</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	7章 確率	<b>1 確率</b> 1 確率 2 いろいろな確率	7	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解している。</li> <li>簡単な場合について確率を求めることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。</li> <li>確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様子</li> <li>提出物</li> <li>振り返りシート(授業・節・章)</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>